

「一般貸切旅客自動車運送事業」法令等試験問題

申請者名 _____

記入者名 _____

席 番 号	
-------------	--

(注意事項)

1. 本問題中「事業者」とあるのは、「一般貸切旅客自動車運送事業者」を指します。
2. 設問の文中には、条文の一部を省略しているものもあります。

I. 次の1から15までの文章で、正しいものには○印を、そうでないものには×印を()内に記入しなさい。

1. 道路運送法における「旅客自動車運送事業」とは、他人の需要に応じ、無償で、自動車を使用して旅客を運送する事業である。(道路運送法第2条)
(×)
2. 事業用自動車の乗務員の休憩、仮眠又は睡眠のための施設を変更した場合、遅滞なく、届出しなければならない。(道路運送法施行規則第66条)
(○)
3. 旅客自動車運送事業者は、旅客に対する取扱いその他運輸に関して苦情を受け付けた場合には、法令に掲げる事項を営業所ごとに記録し、かつ、その記録を整理して一年間保存しなければならない。(運輸規則第3条)
(○)
4. 幼児専用車及び乗車定員三十人以上の自動車(緊急自動車を除く。)には、非常時に容易に脱出できるものとして、設置位置、大きさ等に関し告示で定める基準に適合する非常口を設けなければならない。ただし、すべての座席が乗降口から直接着席できる自動車にあつては、この限りでない。(道路運送車両の保安基準第26条)
(○)
5. 事業者は、事業用自動車の運転者が乗務した場合は、当該自動車の平均速度、運行距離及び運行時間を運行記録計により記録し、かつ、この記録を一年間保存しなければならない。(運輸規則第26条)
(×)

6. 事業者は、旅客の運賃及び料金を変更しようとするときは、あらかじめ、国土交通大臣の認可を受けなければならない。(道路運送法第9条の2)
(×)
7. 統括運行管理者は、法令に定める方法で行った日常点検の結果に基づき、運行の可否を決定しなければならない。(車両法施行規則第32条)
(×)
8. 一般貸切旅客自動車運送事業標準運送約款を適用する場合において、事業者は、災害その他の事故により乗車券を滅失した場合以外には、乗車券の再発行をしてはならない。
(標準運送約款第9条)
(×)
9. 旅客自動車運送事業者は、事業用自動車の保管場所ごとに、自動車の点検及び清掃のための施設を設けなければならない。(運輸規則第47条)
(×)
10. 旅客自動車運送事業者は、前年四月一日から三月三十一日までの期間に係る事業報告書を毎事業年度の経過後1年以内に提出しなければならない。(旅客自動車運送事業等報告規則第2条)
(×)
11. 一般旅客自動車運送事業者は、輸送の安全の確保が最も重要であることを自覚し、絶えず輸送の安全性の向上に努めなければならない。(道路運送法第22条)
(○)
12. 旅客自動車運送事業を営もうとする者は、都道府県知事の登録を受けなければならない。
(道路運送法第4条)
(×)
13. 一般旅客自動車運送事業者は、発地及び着地のいずれもがその営業区域外に存する旅客の運送(路線を定めて行うものを除く。)をしてはならない。(道路運送法第20条)
(○)
14. 事業者は、法令及び告示の規定による運送引受書の写しを当該運送終了の日から一年間保存しなければならない。(運輸規則第7条の2)
(○)
15. 運転者は、乗務中は運行指示書を携行しなければならない。また、運行指示書は運行の終了の日から二年間保存しなければならない。(運輸規則第28条の2)
(×)

II. 貸切バスの交代運転者の配置基準に関する次の文中、() 内に入る字句として正しいものを下欄から選び、() 内に記号を記入しなさい。

(旅客自動車運送事業運輸規則 21 条、解釈・運用通達)

- ・夜間ワンマン運行の一運行の運転時間は、運行指示書上、(ア) を超えないものとする。
- ・夜間ワンマン運行の実車運行区間において、連続運転時間は、運行指示書上、概ね(カ) までとする。
- ・昼間ワンマン運行の一運行の実車距離は、(セ) までとする。ただし、当該運行の実車運行区間の途中に合計 1 時間以上 (分割する場合は、1 回連続 20 分以上) の休憩を確保している場合にあっては、(サ) を超えないものとする。
- ・(コ) 運行の連続乗務回数は、4 回 (一運行の実車距離が 400 km を超える場合にあっては、2 回) 以内とする。

ア. 9 時間	イ. 6 時間	ウ. 3 時間	エ. 1 時間	オ. 昼間ワンマン
カ. 2 時間	キ. 4 時間	ク. 300 km	ケ. 400 km	コ. 夜間ワンマン
サ. 600 km	シ. 16 時間	ス. 8 時間	セ. 500 km	ソ. 全日ワンマン

III. 一般貸切旅客自動車運送事業の運賃及び料金に関する次の文中、() 内に入る字句として正しいものを下欄から選び、() 内に記号を記入しなさい。

(道路運送法第 9 条)

国土交通大臣は、事業者の運賃及び料金が次のいずれかに該当すると認めるときは、当該事業者に対し、(コ) を定めてその運賃及び料金を変更すべきことを命ずることができる。

- ・(イ) 事情に照らして著しく不適切であり、旅客の(エ) するおそれがあるものであるとき。
- ・特定の旅客に対し不当な(キ) 取扱いをするものであるとき。
- ・他の事業者との間に不当な(ソ) を引き起こすおそれがあるものであるとき。

ア. 条件	イ. 社会的経済的	ウ. 公共の福祉	エ. 利益を阻害	オ. 需要
カ. 違反	キ. 差別的	ク. 変更	ケ. 協議会	コ. 期限
サ. 適合	シ. 利便を向上	ス. 優先的	セ. 連携	ソ. 競争

IV. 事業者は、事業用自動車の運転者ごとに乗務員台帳を作成し、これを運転者の属する営業所ごとに備えておかなければなりません。下記の中で乗務員台帳に記載が必要な事項には○印を、そうでない事項には×印を（ ）内に記入しなさい。

(運輸規則第37条第1項)

- | | |
|-------------------------|-------|
| ① 運転者の家族構成 | (×) |
| ② 雇入れの年月日及び運転者に選任された年月日 | (○) |
| ③ 作成番号 | (○) |
| ④ 運転者の氏名、生年月日及び住所 | (○) |
| ⑤ 運転者の健康状態 | (○) |

V. 旅客自動車運送事業者の従業員に対する指導監督に関する次の文中、（ ）内に入る字句として正しいものを下欄から選び、（ ）内に記号を記入しなさい。

(運輸規則第38条)

- ・旅客自動車運送事業者は、その事業用自動車の運転者に対し、国土交通大臣が（セ）で定めるところにより、主として運行する路線又は営業区域の状態及びこれに対処することができる（ス）並びに法令に定める自動車の運転に関する事項について適切な指導監督をしなければならない。この場合においては、その（オ）及び内容並びに指導監督を行った者及び受けた者を記録し、かつ、その記録を（サ）において（ア）保存しなければならない。

ア. 三年間	イ. 一年間	ウ. 経路	エ. 教育	オ. 日時、場所
カ. 報告	キ. 車庫	ク. 精神	ケ. 通達	コ. 電子媒体
サ. 営業所	シ. 基準	ス. 運転技術	セ. 告示	ソ. 指導監督

VI. 次の文中の（ ）の部分にあてはまる語句を 答. _____ の欄に記入しなさい。

1. 一般旅客自動車運送事業者は、その（ ）を他人に一般旅客自動車運送事業又は特定旅客自動車運送事業のため利用させてはならない。(道路運送法第33条)

答. _____ 名義 _____

2. 一般貸切旅客自動車運送事業の許可は、（ ）ごとにその更新を受けなければ、その期間の経過によつて、その効力を失う。(道路運送法第8条)

答. _____ 五年 _____

3. 一般旅客自動車運送事業の譲渡及び譲受は、国土交通大臣の（ ）を受けなければ、その効力を生じない。(道路運送法第36条)

答. _____ 認可 _____

4. 旅客自動車運送事業者は、事業用自動車の運行を中断したときは、当該自動車に乗車している旅客のために、旅客の運送を（ ）すること又は旅客を出発地まで送還すること、その他旅客を保護することに関して適切な処置をしなければならない。(運輸規則第18条)

答. _____ 継続 _____

5. 事業者は、運賃又は料金を収受したときは、運賃又は料金の計算基礎を記載した（ ）を発行しなければならない。ただし、乗車券を発行したときは、この限りでない。(運輸規則第10条)

答. _____ 領収証 _____